

# 点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■133■

無事に行われ、何と贅沢なごとか。

話は変わって、先日のこと。碓氷峠（安中市）

方面に向かうのが正解。上州の先輩から気を付けろと言われていたのに、何たる失態。次のインターチェンジで降りてUターンする羽目となった。

この失敗の原因は、自分の頭の中の起点がまだ東京にあるということだ（ただの方向音痴との

たちまち混乱に陥る。物事を評価・比較する上でも、何を物差し（基準）にするかが明確でない。議論の方向性を見失う。

ある尊敬する経営者の言葉が、胸に去来する。

「経営判断の基準をあいまいにすると、万が一失敗した時に、どこまで撤

さて、Uターンした自分分は、無事に（？）碓氷峠に到着し、アパートの道をハイキング。夕暮れのめがね橋を鑑賞した後、立ち寄り温泉へ。気のせいだろうか。前橋よりも少し日が長く感じる。前橋は山々に囲まれているが、碓氷は高地だから、山に遮られずに日暮れを楽しめるということかもしれない。宵の明星が、視点（起点）を変えた自分分にはやけに輝いて見えた。冬の群馬は星が美しい。

## 明確な物差しが必要

の立ち寄り温泉を自当てに、自宅のある前橋市内から車で高速に乗った。料金所を超えた分岐点に、「東京方面」「新潟

方面」との表示が見えてくる。迷わず新潟方面に進むと、何と逆方向だった！ 上信越道は前橋起

点の場合、いったん東京

噂もあるが）。嗚呼、自分はまだ群馬生活の初心者なんだと再確認して恥ずかしくなった。

スタート地点を間違えると、ひどいことになる。それはスピード競技では極めて厳格に管理される。また、移動する時も、

起点や基準点が揺らぐと

退すればいいのか分からなくなる。これこそが大きな失敗のもとだ。

宮 将史（みや・まさひこ）

1974年生まれ。神奈川県出身。一橋大経済学修士。

2000年日本銀行入行、政策委員会室国会渉外課長などを

を経て24年7月から現職

## 起点が大事

早いもので新年もひと月が経つ。元日は、穏やかな日の中、当地名物のニューイヤークラッシュを観戦。今年のお正月は大きな災害などもなく、スポーツの素晴らしさを堪能する幸せを味わえた。特に、各ランナーが一線に並んで号砲を待つ緊張感、これから展開するドラマへの期待と高揚でいっぱいスタート風景が、私は好きだ。

駅伝が終わると、それは高崎だるま市の号砲を意味する。終わりと始まり。お正月からお祭りが



を経て24年7月から現職